



## とっとり SDGs 企業認証 認証事業者申請内容



事業者名	千代興業有限公司
所在地	鳥取市千代水二丁目4 6
代表者	代表取締役 松下 眞宏
業種	建設業
事業概要	1980年（昭和55）年創業  ○産業廃棄物収集運搬処理事業 ○リサイクル事業 ○解体工事事業 ○土木・建設事業 ○遺品整理サービス事業 ○エクステリア工事事業

# とっとり SDGs 企業認証 申請チェックシート

[申請者名:千代興業有限会社]

## 2030 年に目指す姿

1-1 <2030 年に目指す姿> SDGs の達成に向けた自社の目指す姿を記載してください。

※自社の現状や、実行可能な取組からの積み上げで目標を設定するのではなく、自社が SDGs の達成に貢献するために 2030 年にはどんな企業でありたいかを検討し、記載してください。

《社会》

### ・廃棄物の再資源化率100%を目指す！

当社は 排出事業者(一般家庭、事業所等)からの廃棄物(廃材・廃プラスチック・鉄屑等)を収集し、中間処理を行い、再生使用または最終処理業者へ運搬・持込みを行っています。環境負荷軽減のために廃棄物の再資源化率のさらなる向上を目指し、最終的には全ての廃棄物を再資源化できるように努力します。

### ・3R(リユース・リデュース・リサイクル)が当たり前の社会へ

当社では社会貢献活動の一環としてボランティア活動や災害などの復旧工事作業を行っています。こういった活動を通して、地域社会の皆様当社への環境への取り組みを知っていただき、循環型社会の実現へ向けた3R活動を広めていきたいと考えております。

《経済》

### ・資源・エネルギー節約の先駆者に

事業内容を通して廃棄物の再資源化率を向上させることで、地域から出るゴミの全体量を減らしたいと考えております。また会社全体で使い捨て型の消費を率先して見直し、資源・エネルギーの節約を推進します。

### ・安心安全な会社づくり

社内における労働安全衛生教育を徹底し、ハラスメント防止の研修を定期的に行うなどして全社員が安全に安心して働ける環境づくりに取り組んでいきます。また女性や障がい者の雇用を推進し、多様な人材が第一線で活躍できるような会社を目指します。

《環境》

### ・カーボンニュートラルの実現へ

当社では、事業で使用する重機を CO2 排出量のより少ないものへと変更し、運搬に使用するトラックではエコドライブを実践しております。また社内ではデジタルツールを利用するなどしてペーパーレス化も進めています。将来的には、事業で使用する全ての車両を環境配慮型のものに変更し、電子契約などを取り入れることによってさらなるペーパーレス化を目指し、カーボンニュートラル実現へ向けた取り組みをいっそう推進していきます。

### ・再生可能エネルギーの導入

社内において電力使用量の削減を常に心掛けておりますが、太陽光パネル設置による発電システムの導入など再生可能エネルギーの活用によって、さらなる CO2 使用量の削減・気候変動対策へ貢献したいと考えています。

1-2<上記の目指す姿の実現に向けた重点的な取組> 該当するチェックシートの取組項目を記載してください。

## 1、社会

1:労働災害の防止/10:地域社会への貢献

## 2、経済

6:コロナなどの市場変化を見据えた対応/8:デジタル化による生産性向上

## 3、環境

1:【気候変動リスク・機会の分析・対策 1】自然環境の変化が経営にもたらす影響/2:【気候変動リスク・機会の分析・対策 2】社会・制度の変化が経営にもたらす影響/3:【環境負荷リスクの分析・対策】自社の事業活動が引き起こす影響/4:【カーボンニュートラル 1】〈省エネ〉燃料消費量の削減/ラル 2】〈省エネ〉電 7:廃棄物の削減

1-3<重点的な取組推進時のインパクト(正の影響、負の影響)の分析・考察>

上記の重点的な取組を実施することが、他方面へどのような影響をもたらすか、その効果だけでなく、負の影響も含めて分析し、記載してください。

### ◇カーボンニュートラル実現への取り組み

当社では建物の解体などで排出された木くずを自社でチップ化し、製紙原料として製紙会社へ販売しています。現在は自社で収集した木くずのみを製紙原料として粉碎・チップ化していますが、今後は自社以外の建設工事業者等からの委託も受け入れることでさらに多くの木くずをチップ化することが可能となり、木くずの再資源化率向上を図れます。これはカーボンニュートラル・脱炭素社会実現に向け大きな貢献になると考えていますが、設備投資の負担増大や人手不足、また燃料コストの増加といった面があることも否めません。

### ◇廃棄物の削減・再資源化

当社では、産業廃棄物を圧縮する圧縮設備を自社に設置しています。収集した産業廃棄物を選別し圧縮した上で、原料として出荷しています。収集から運搬、粉碎・圧縮などの中間処理を当社で一貫して行うことにより作業コストの軽減を実現し、多くの廃プラスチックや金属くずを資源化できるようになりました。また圧縮による廃棄物の減容化も実現しています。これについても環境負荷軽減につながるという意味で大きな成果がありありますが、一方で選別が可能な熟練工が不足しているという問題を抱えています。

### ◇地域社会への貢献

当社では、地域貢献のひとつとして会社全体で地域のごみ拾いに参加しています。また地域での除雪・草取り等の活動にも積極的に取り組んでいます。こういった活動に積極的な従業員を表彰するなどして社内でも評価し、活動費の助成やボランティア休暇として活動日を有給休暇扱いにするなど経済的な支援を行っています。従業員自身がボランティア活動を通して様々な気付きを得て、自信を持つことでモチベーションが向上することを当社としては期待していますが、活動が強制になりかねないので、自主性も重視するようにしています。

## 社会

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	労働災害の防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生教育の実施。定期的にヒヤリ・ハット活動、危険予知活動について社内会議を行い、会社全体で安全衛生に与える影響を周知。労働災害の低減と快適環境の実現を目指している。</li> <li>全従業員を対象とする労働災害防止に向けての講習への積極的な参加。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>ゼロ災害(2024年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建設機械等を使用する箇所には危険防止の措置をとる。</li> <li>年に1回以上、定期健康診断を実施。アスベスト等に関わる業務に就く従業員には6カ月以内に1回特殊健康診断を実施。</li> </ul>
2	ハラスメントの防止	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権問題について社内で会議を行い、ハラスメントへの周知啓発活動を行っている。</li> <li>社内に相談できる窓口を開設し、ハラスメントを防止するための環境づくりを行っている。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>・ハラスメント0とその継続(2024年～毎年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口にも男女各1名を追加し、社外窓口を新たに設置。</li> <li>相談窓口の案内ポスターを事務所、工場の誰もが見える場所に掲示。</li> <li>定期的に社内アンケートを実施し、ハラスメントの有無、ハラスメントになりそうな案件がないか情報収集をする。</li> <li>社内でのみの会議だけではなく、全従業員を対象としてハラスメント防止に向けての社外講習への積極的な参加。</li> </ul>
3	女性の活躍	○	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合:15%(2023年3月時点)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合:0%(2023年時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女性の人材募集及び採用を積極的に行っている。</li> <li>子育てや介護と業務が両立できるよう、週1日5時間～の就労など労働時間を調整可能にし、女性が働きやすい環境を整備。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>女性が働きやすかつ長期的にキャリアを築ける職場づくりを目指す。</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>全従業員に対する女性の割合:30%(2025年)</p> <p>全管理職に対する女性管理職の割合:10%(2030年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長時間労働を改め、多様な働き方を認める等労働環境の見直しを行い、男女共に働きやすい職場環境へと導く。</li> </ul>
4	障がい者が働きやすい職場づくり	○	<p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数:1人(2023年3月時点)</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本人またはご家族と、その特性・能力・配慮事項をあらかじめ確認し、全従業員と共有している。</li> <li>現場が抱える不安を解消するために、会社全体でサポート体制を作り、不安や疑問・トラブルが発生した場合の相談窓口を設置。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>障がい者が安心していきいきと働ける職場環境の整備。</p> <p>&lt;KPI&gt;</p> <p>障がい者雇用者数:3人(2025年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導するうえでの判断基準を明確にするために指導方針等の育成ハンドブックを作成。全従業員に共有。</li> <li>採用前に実習を実施。安心して業務に向かうことができるようにする。</li> </ul>

★従業員数が43.5人以上の企業の場合は、法定雇用率を満たしていること

5	<b>多様な人材の活躍</b>	○	<b>【主な取組】</b> 保護観察所からの紹介雇用者数:1人(2023年3月時点) ・当社は保護観察所の会員であり、働く意思のある方であれば積極的に採用している。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・犯罪や非行からの立ち直りのための支援ができる会社となる。 (2025年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・既存の従業員が心身共に健康に働けるように安全を確保する。 ・研修等を行い犯罪を犯した大人や非行をした少年等の特性を理解し、会社が一丸となって支える。 ・採用前には職場見学や体験等を通して安心して業務に向かうことが出来るようにする。
6	<b>多様な働き方の促進</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・仕事と家庭を両立するため、時短勤務制度を導入。ひと月の総労働時間の中で時間を調整し、日ごとにメリハリをつけた勤務時間を可能にした。 ・働き方改革を行い、長時間労働、時間外労働を規制。 ・業務改革の見直しを実施し、時間と手間がかかる手作業で行っていた作業を機械で使用できるよう変更。人力が大幅に緩和され、作業効率が向上。 ・事務所に立ち寄らず、直行直帰を推進、従業員の負担減を実現。 ・従業員の健康管理を行い、従業員の健康を把握し、定期的な健診を奨励。 ・副業兼業の普及・促進。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 従業員が主体的な働き方を追求し、モチベーション向上を目指す。 男女共同参画推進企業への登録(2025年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・勤務を必須とする時間帯と自由に出勤・退勤ができる時間を任意で定め、あらかじめ設定した総労働時間のもとに働く制度(フレックス制度)の推進。
7	<b>労働者への人権配慮</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・ハラスメント行為の周知・予防を徹底するため社内会議を実施。 ・人権問題研修への年1回以上の参加推奨。 ・ハラスメント対応の社内窓口の設置。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 全従業員の人権問題研修への積極参加(2025年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・ハラスメント予防の社内会議の定期的な実施。 ・内部通報制度を社内を設置。
10	<b>地域社会への貢献</b> <u>※環境に関する内容は環境10に記載してください</u>	○	<b>【主な取組】</b> ・地域のボランティア活動、災害復旧活動に参加。 ・地震、風水害等の災害が発生した場合、又はその恐れがある場合の災害応急対策の実施に関し、鳥取県と協定を締結している鳥取県東部建設業協会の会員になっている。 ・災害時における県民の生命、身体及び財産の安全と生活を確保するための応急対策業務等についての協力を行っている。 ・小学生の自由研究などでの工場見学の受け入れ。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・災害時以外にもごみ拾いや除雪作業のボランティア活動を定期的実施。 ・3R活動などへの理解を深めるため、地域の小中学生の工場見学や職場体験の積極的な受け入れ。 (2025年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・除雪が困難な高齢者への除雪ボランティアを実施。 ・ホームページやSNSを通して、工場見学や職場体験を募集。

経済

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	<b>事業継続計画 (BCP) の策定</b> ★BCP を策定していること	○	<b>【主な取組】</b> ・災害時対応マニュアルを作成し、訓練を実施。 ・災害時、従業員及びその家族の安全確保を優先した上で、要員の確保、重要拠点の確保、協力会社との連携、顧客対応、情報発信を行うことを想定。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・策定した BCP を使った災害時を想定した訓練を定期的に行い、会社全体に浸透させる。 ・事業継続力強化計画の認定を受ける (2025 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・年に 1 回以上訓練を実施。結果を踏まえた定期的な見直し。 ・協力会社との連絡体制の強化。
2	<b>セキュリティ対策</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・コンピューターウイルスのセキュリティソフトを導入。定期的に自動更新を行い、最新版にアップデート。 ・防犯防災のため、事務所や工場内に監視カメラを設置。あらゆる異常を検知し、問題事象の早期解決を目指している。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・情報漏洩およびサイバー被害 0。 (2025 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・社内に情報セキュリティ担当を設置。 ・情報セキュリティに関する社内規定の策定。 ・外部識者を招いて、セキュリティ対策に関する社内講習会を年 1 回以上実施。
3	<b>法令順守の取組の徹底 必須項目</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・外部からコンプライアンスに詳しい専門家を交えて、自社事業に係る法的知識を学ぶ勉強会を実施。社員一人ひとりにベースとなる法的知識を身につけてもらいコンプライアンス意識の向上を図る。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> ・コンプライアンス違反 0 の実現 (2024 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・運転者台帳や点呼記録、運行指示書などをデジタル化し、社内で可視化することでコンプライアンス違反を未然に防ぐ。 ・ドライバーへのアルコールチェックの義務化。 ・コンプライアンスに関する社員の相談窓口を開設。
6	<b>コロナなどの市場変化を見据えた対応</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・廃棄物処理法に基づき、排出業者・収集運搬者・処分業者の3者が情報処理センターを介してやり取りする電子 manifests を導入。コロナ禍でも非対面でのやり取りが可能に。 ※電子 manifests 普及率:2023 年時点 10%	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 電子 manifests の普及率 60% を目指す。 (2025 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・全従業員が電子 manifests を活用できるように、社内講習会を実施。 ・電子 manifests を導入していない事業者への推奨。
8	<b>デジタル化による生産性向上</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・クラウドをベースとしたコミュニケーションツールを活用。 ・工事現場の進行に必要な書類や写真等の作成・管理はクラウドのストレージを利用。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> BIM(ビルディングインフォメーションモデリング) や CAD(コンピューター支援計画)などのデジタルツールの全面導入。 (2025 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・社内研修・社員教育を定期的に行い、全面デジタル化に向けて社員のスキルアップを助成。

9	雇用の維持・拡大	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資、業務内容の簡略化、長時間労働の廃止などで、人材が定着しやすい環境づくり。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>従業員数の増加。10名→20名へ。(2030年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用や人材育成のプログラムを作成し、基準や方針を明確化。</li> <li>・求人を県外にも広げ、U・Iターン採用を積極的に行う。</li> <li>・地域の学校などと連携し、インターンシップを実施。</li> </ul>
10	人材育成・能力開発	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩社員が若手社員をマンツーマンで指導するサポート制度の導入。</li> <li>・従業員の資格支援制度を創設。業務上必要な資格の取得を金銭面で全面的に助成。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員自身が目標を決め、その達成に向けてスキルアップを支援。(2025年)</li> </ul> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成プログラムの作成と運用。</li> <li>・リーダーシップ研修などオンライン研修も含めた外部研修への参加。</li> </ul>
+	<p>プラスワン</p> <p>【労働環境の整備】</p> <p>★SDGsに関する特徴的取組で、経済1～10に該当しない取組があれば記載できる</p>	○	<p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物を分別・破砕する際に使用するショベルは用途によって装着するアタッチメントが違い、重いピンを外してつける作業を二人がかりで対応するので、時間も手間もかかる。従業員の業務負担を考え、改善プランを実践。</li> </ul>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>油圧式カブラ導入による業務内容の簡素化(2023年度中)</p> <p>【目標達成に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油圧式カブラをショベルの先に常に装着することにより、キャビン内のレバーをオンオフするだけで、アタッチメントを交換でき、作業時間が大幅に短縮される。人力が大幅に緩和され、作業効率の向上が図れる。</li> </ul> <p>また、現場の人員が、2名から1名で対応可能となり、他現場への人員配置が可能に。</p>

## 環境

	取組項目	取組確認	現在の取組 (実施内容や時期などを具体的に記載)	今後の目標・目標達成に向けた取組
1	【気候変動リスク・機会の分析・対策①】 自然環境の変化が経営にもたらす影響	○	<p>【リスク・機会の分析】</p> <p>リスク： ・気温上昇による災害の激甚化、事務所・工場の操業に影響。 ・災害に起因する廃棄物の発生量の増加、復旧作業のコスト増大。</p> <p>機会： ・災害廃棄物の再資源化への期待度の高まり。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 ・災害時の事務所・工場の稼働についての対応を協議。 ・復旧作業の効率化をはかることで、コストを抑制。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>・BCP(事業継続計画)を定期的に見直し、自然災害等の損害を最小限にとどめる。(2024年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・企業用の防災グッズの設置。 ・事務所及び工場の防災対策をさらに強化することで、直接的な損害を大幅に削減。</p>
2	【気候変動リスク・機会の分析・対策②】 社会・制度の変化が経営にもたらす影響	○	<p>【リスク・機会の分析】</p> <p>リスク： ・温室効果ガス排出に関する規制の強化。 ・炭素税の導入あるいは引き上げによるコストの増加。 ・物価上昇による化石燃料のコスト増加。</p> <p>機会： ・気温変動を抑制するためのエコ意識の高まり、業種への社会的評価の向上。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 ・環境配慮型の車両の導入。 ・紙資料の削減などペーパーレス化推進、業務のデジタル化。 ・事務所・工場での電力使用量を削減。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>2023年時点よりひと月当たりの燃料費10%減(2030年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・作業の効率化により作業時間を短縮し、作業中に排出されるCO<sub>2</sub>排出量を削減。 ・地域社会のニーズと調和した新たな環境保全サービスの提案、新規事業展開。 ・事務所及び工場の屋根に遮熱塗料を塗り、冷暖房コストを抑制。</p>
3	【環境負荷リスクの分析・対策】 自社の事業活動が引き起こす影響	○	<p>【リスク・機会の分析】</p> <p>リスク： ・廃棄物の焼却、運搬におけるCO<sub>2</sub>の直接排出。</p> <p>機会： ・環境負荷軽減の対策を早期に実行することで、企業としての社会的な信頼性の向上。</p> <p>【分析に基づく主な取組】 ・事業に伴う廃棄物の再資源化率向上を目指し、廃棄物の収集・運搬・処理を一貫して自社で行う。 ・事業で使用する重機をCO<sub>2</sub>排出量の少ない型に変更。</p>	<p>【今後の目標・達成時期】</p> <p>廃棄物の再資源化率向上を目指すシステムの構築(2030年)</p> <p>【目標達成に向けた取組】 ・木くずを自社施設でチップ化することで、紙製品の原材料としての再資源化率の向上をはかる。 ・廃プラスチック・金属くず等の産業廃棄物を自社で収集～圧縮まで行うことで、廃棄物量を削減、より再利用しやすくする。 ・事業で使用する全ての車両を環境配慮型車両へ変更。</p>



4	<b>【カーボンニュートラル①】</b> <b>&lt;省エネ&gt;燃料消費量の削減</b> <b>重点項目</b>	○	<KPI> 燃料:CO2 排出量 年間 643,650kgCO2 (2023 年時点)  <b>【主な取組】</b> ・Co2 排出量が少ない重機に変更。 ・アイドリングストップなどエコドライブを実践。 ・事務所及び工場でのコピー用紙等の使用量削減。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <KPI> 燃料消費による CO2 排出量を 580000kgCO2 まで削減。 (2030 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・社用車及び建設機械使用に伴う CO2 排出量の削減。 ・環境配慮型車両の導入。 ・事業にともなう資料のデジタル化。 ・電子契約書の導入。
5	<b>【カーボンニュートラル②】</b> <b>&lt;省エネ&gt;電力消費量の削減</b> <b>重点項目</b>	○	<KPI> 電力 O2 排出量 年間 46,492 kgCO2 (2023 年時点)  <b>【主な取組】</b> ・使用していない部屋の照明の消灯やコンセントを抜くなど事務所及び工場の電気使用量削減を強化。 ・エアコンの適温設定の徹底。 ・クールビズ実施。 ・省エネタイプの OA 機器導入。 ・OA 機器のスリープ機能の活用。 ・節電を呼びかけ、社員への意識向上を実現。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <KPI> 電力消費による CO2 排出量を 42000kgCO2 まで削減 (2030 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・水銀灯及び蛍光灯を LED 化し、電力使用量を削減。 ・エアコンのフィルター等の定期的な清掃。 ・全従業員に対して積極的な節電の周知徹底。
7	<b>廃棄物の削減</b> ※事業系一般廃棄物、特別廃棄物など、産業廃棄物以外も含めた取組としてください	○	<KPI> 総廃棄物発生量:一年あたり 50kg(2023 年時点)  <b>【主な取組】</b> ・徹底した分別による廃棄物の減量化。 ・3R(リデュース・リユース・リサイクル)の徹底。 ・食べ残しやプラスチックゴミを出さないように心掛け、廃棄物自体の量を減らす。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> <KPI> 総廃棄物発生量を 2023 年時点と比べ 10%削減(2025 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・過剰に包装された製品を避ける。 ・従業員へのエコバックやマイボトルの推奨。
8	<b>水資源の適正な管理</b>	○	<b>【主な取組】</b> ・重機やダンプの洗車時は節水を心掛け、水を流しっぱなしにせず必要な分のみ使用。 ・環境基準に則った天然成分配合の専用液剤を使用し、最小の水で洗車。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 雨水・再生水の有効活用 <b>(2028 年)</b> <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・工場内に溜まった雨水を循環利用するための沈殿槽を新たに設置し、上澄みのきれいな処理水を散水やトイレの洗浄水等に再利用。 ・沈殿槽を設置する場所の確保。 ・雨水が流れる経路の作成。
9	<b>環境配慮型商品・サービスの提供</b> <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	<b>【主な取組】</b> ・排出事業者から排出された廃棄物を収集、運搬、中間処理、最終処分場や販売業者への運搬までを自社で一括して行うことで、コストや無駄な作業を削減し、CO2 排出抑制、廃棄物の再資源化率の向上に寄与し、環境負荷軽減に繋がっている。 ・廃棄物の収集を事業者のみならず個人からも行うことでテレビひとつからでもリサイクルすることができ、廃棄物の再資源化率向上に貢献。	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 環境省の定める認証制度エコアクション 21 の認証取得を目指す(2030 年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> ・自治体の主催するエコアクション 21 取得に向けた研修会などに参加する。 ・さらなる環境負荷削減を意識した利用者向け新規サービスの提案。

10	<b>環境面での社会貢献</b> <u>※環境に関する内容を記載してください</u>	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の地域での清掃活動への参加。</li> <li>・災害時の復旧作業へのボランティア参加。</li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 全従業員の社会貢献活動への参加(2024年度内)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動に積極的に参加した従業員の社内での表彰。</li> <li>・活動費の助成、活動日を有給休暇扱いするなどの経済的支援。</li> </ul>
+	<b>プラスワン【社内で取り組むエコ活動】</b> ★SDGsに関する特徴的取組で、環境1～10に該当しない取組があれば記載できる	○	<b>【主な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>グリーン購入を実施し、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入している。</u></li> <li>・<u>工場内の建設機械は低騒音型・低振動型建設機械を使用また、不必要な燃料消費をする運転をしない。</u></li> <li>・<u>食品ロスの削減</u></li> <li>・<u>用紙類の使用量削減のため、電子申請等を活用。</u></li> <li>・<u>コピー用紙、トイレトーパー等、事務用品の再利用、詰め替え商品の利用。</u></li> </ul>	<b>【今後の目標・達成時期】</b> 従業員それぞれが日々の声掛け等により習慣づくことを目標とする(2025年)  <b>【目標達成に向けた取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全従業員対象のSDGs講座を開催し、エコ意識向上を目指す。</li> <li>・社内での節電、FSC 森林認証紙やリサイクル商品の積極的な利用を徹底。</li> <li>・社内のインターネット検索環境を ECOSIA に切り替え、ECOSIA の広告収入における植樹活動を支援。</li> </ul>